

石巻かわみなと大橋が開通



門脇流留線も全線開通 市街地沿岸の交通網

市が県に工事を委託していた石巻かわみなと大橋(536m)が完成し、3月30日に開通しました。北上川河口の日和大橋から約500m上流に架かったこの橋は、都市計画道路「南光湊線」の一部で、東日本大震災後の新しいまちづくりが行われた門脇地区と湊地区を最短で結びます。

近くには産業ゾーンや石巻南浜津波復興祈念公園があり、生活、通勤の利便性向上だけでなく、物流効率化や交通円滑化が期待されます。開通式では、川と共に発展してきたまちの新たなシンボルになることを願いました。

また、県が整備を進めていた都市計画道路「門脇流留線」は、3月24日に門脇工区(4.2km)が開通し、門脇から魚町にかけた全線(7.9km)が通行可能になりました。大部分は津波に備えた高盛り土道路で、西側では都市計画道路「矢本門脇線」(3.8km)につながっています。これらにより東西沿岸部が行き来しやすくなり、災害時に救援道として効果を発揮します。

☒ 都市計画課(内線5623)



東西行き来しやすく

身近なことから！SDGs

エスディーゼーズ

Sustainable (サステナブル:持続可能な)
Development (ディベロップメント:開発)
Goals (ゴールズ:目標)

SDGs(持続可能な開発目標)は、地球上に住む全ての人が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくための世界共通の17の目標です。

SDGsと聞いて、「なんだか難しそう」「遠い世界の話」と思いませんか?実はSDGsの取り組みはとても身近にあり、日常生活の中ですでに取り組んでいることや取り組めることがたくさんあります。そんな「実は身近なSDGs」について、紹介します。 ☒ SDGs移住定住推進課(内線4224)

マイバッグの持参

レジ袋などの使い捨てプラスチックは、海に流出すると魚や鳥の生態系に悪影響を及ぼすほか、燃やすと温暖化ガスが発生するため、環境負荷の増大を招く恐れがあります。マイバッグを持参し、レジ袋を利用しないことは、環境を守るための大切な取り組みの一つです。



レジ袋有料化以降、
レジ袋の国内流通量
約20万t→約10万tに減少!
1週間レジ袋を利用しなかった人の割合
30.4%→71.9%に増加!

みんなでさらに
取り組みを
進めましょう!



買い物編

地産地消の推進

地産地消とは、地元で生産されたものを地元で消費することです。地産地消を推進して生産量が増えることで、地元での雇用が生まれ、地域経済の活性化が期待できます。

また、採れたての新鮮な食材や地元の旬の食材を食べることは、健康増進や食育にもつながります。



石巻には美味しい食べ物がたくさん!
ぜひ日々の食事に取り入れましょう!

フェアトレード認証製品の購入

フェアトレードとは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」です。

フェアトレード認証製品を購入することにより、低賃金での労働を強いられている人たちが、家計のために学校に行かずに働いている低年齢の子どもたちを守ることに繋がります。ぜひ、購入してみましょう。



国際フェアトレード
認証ラベル

使いきれ的分だけ買う

家庭から出る生ごみの中には、食べ残しや手付かずの食品がたくさん含まれています。食材を購入するときは、カット野菜やバラ売りの食材を活用して、必要な分だけ購入しましょう。



「30・10運動」毎月10日と30日を冷蔵庫のクリーンアップデーに!使い忘れ、食べ忘れを減らし、必要なものが把握しやすくなります。

